

平成 20 年 9 月 24 日

お取引先各位

最新情報

HOT！な情報報告

「ガイナ」 住宅用以外にも応用が・・・

9 月 24 日発売の「日経産業新聞」にガイナの記事が掲載されました。

省エネ志向の高まりを見せる現在、環境改善塗料ガイナの用途に関心が持たれています。

今回、住宅用以外にも省エネルギー性能を高めるガイナの使用方法が紹介されています。

ガイナは住宅・工場以外にも、無限の可能性が期待出来る断熱塗料です。今後の使い方の参考として、是非ご覧下さい！

紙面の著作権は新聞社に帰属しておりますので、紙面の取扱いにはご注意ください。

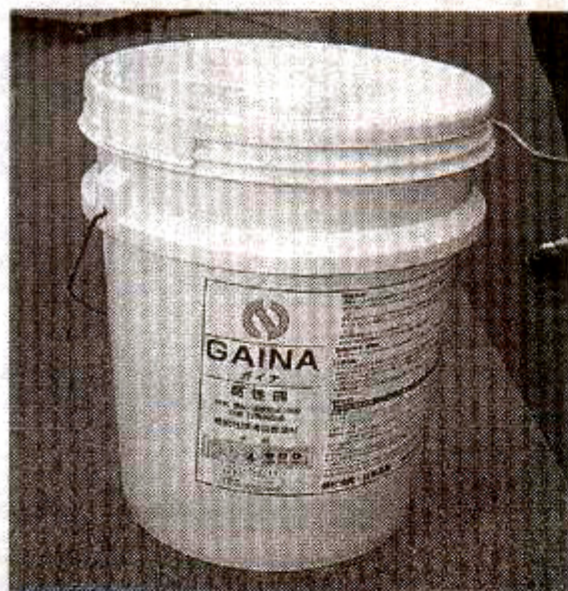
(ホームページや広告には掲載しないで下さい。)

皆様の拡販にご活用ください。

株式会社日進産業

日進産業

現在は主に住宅用だが、
様々な用途に応用できる
(ガイナ)



特殊塗料メーカーの日進産業(東京・板橋、石子達次郎社長)は断熱塗料の用途開拓を加速する。従来の住宅向けに加え、冷凍車の性能向上などの用途を開拓。塗料を塗り込んだ不織布を使い、夏は涼しく冬は暖かい機能性シーツの開発も進める。省エネ志向の高まりなどを追い風に塗料の販売先を広げ、生産能力も増強する。

断熱塗料 冷凍車にも

シーツなど新用途開拓

同社の断熱塗料は直径数センチの中空の特殊セラミックビーズをアクリルシリコン樹脂でつないだ構造。外壁に塗れば太陽光線を九五%反射して屋内を涼しく保ち、内壁に塗れば暖房効率を高められる。国産H-IIロケットの機体に塗る断熱材を独立行政法人の宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共同開発した実績もある。

用途開拓はJAXAと共同開発した断熱塗料「ガイナ」を中心に進める。冷凍トラックのボディや列車の屋根に塗り、省エネルギー性能を高める使い方を提案。機能性シーツには片面に塗料を塗った不織布を素材に使う。夏は体熱を拡散し、冬は保温効果が出るという。二年後をメドに一枚三千円程度で販売する計画だ。

用途開拓はJAXAと共同開発した断熱塗料「ガイナ」を中心に進める。冷凍トラックのボディや列車の屋根に塗り、省エネルギー性能を高める使い方を提案。機

このほかにも鉄橋の不燃性能を高めて火事の際の耐久性を増したり、遮音や結露を防ぐ性能を生かすといった用途の開拓も進める。大阪府と島根

県に工場があるが、販売拡大に向け、このうち十八ヶ所換算で月産能力五千缶の大坂工場を近く七千缶に増強する。

日進産業は石子社長が

学生時代の一九七七年に営繕工事業として起業、八八年に会社設立した。全国に九社の販売代理店を持ち二〇〇八年三ヶ月の売上高は約六億円。